

今読むべき世界の名著③

『学問のすゝめ』 ～男女の平等を考える～

講師 慶應義塾福澤研究センター 西澤直子教授

『学問のすゝめ』初編の冒頭「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずといえり」はあまりにも有名ですが、当時この本を手にしたほとんどの読者は、人とは成人男性を指していると考えたと思います。老人や子ども、ましてや女性が含まれるなど夢にも思いませんでした。そこで福澤は第八編で、「男も人なり女も人なり」と当たり前のことを主張します。福澤がめざした近代社会で、男女の平等は必須でした。

この本で福澤が説く「学問」は、机に向かって本を読むことではありません。「学問」とは何を指すのかを考えながら、福澤の男女平等に対する取り組みを考えます。『学問のすゝめ』は多くの読者を得、彼の女性論も影響力を持ちますが、賛成者ばかりではなく、多くのアンチも誕生し、現代に至るまで賛否両論が続いています。このことは、福澤の議論が問題の本質をつき、かつ解決されていない証左であるといえましょう。私たちが抱える課題からも考えます。



【講師プロフィール】

1961年東京生まれ。1986年慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程を修了後、福澤研究センターに勤務。現在、同センター教授。研究テーマは福澤諭吉の女性論・家族論および中津を中心とした士族社会論。

『福澤諭吉書簡集』（全9巻、岩波書店、2001～3年）、『福澤諭吉著作集』第10巻（慶應義塾大学出版会、2003年）、『福澤諭吉事典』（慶應義塾、2010年）で編者を務める。単著に『福澤諭吉とフリーラヴ』（慶應義塾大学出版会、2014年）、『福澤諭吉と女性』（慶應義塾大学出版会、2011年）。

日時：2022年10月20日（木） 14時30分～16時
会場：大和市文化創造拠点シリウス 6階 生涯学習センター 601講習室
定員：40名（先着）
対象：18歳以上の大和市内在住・在勤の方（高校生を除く）
参加費：1,000円
申込：2022年9月17日（土）10時から受付開始
お電話または6階生涯学習センター窓口へ
市外の方は9/23（金）10時からお申込みいただけます。
右のQR、お電話または6階生涯学習センター窓口へ



お申込・お問合せ 046-261-0491

※天候や交通機関の運行状況およびその他不可抗力により、開催が中止となる場合があります。
※駐車場の数に限りがありますので公共の交通機関でお越しください。